



いいで町

162号

議会だより



満開のどんでん平ゆり園

6月議会(第5回定例会)

定例会	P 2～3
一般質問	P 4～7
土地開発公社、第3セクター	P 8～9
臨時会	P 10
各常任委員会	P 11
現地踏査・編集後記	P 12

築工事は順調

6月定例会概要

平成28年度6月定例会を6月7日から6月14日までの8日間開催しました。

一般質問4人、条例の一部改正、平成28年度一般会計を始め各特別会計補正予算6件、ほかに工事請負契約の一部変更1件と、請願1件を審査しました。



完成間近な第一小学校

各会計補正予算

(単位：千円)

会 計 別		補正前の金額	補正金額	合計	備考
一 般 会 計		7,269,246	70,491	7,339,737	主に人事異動による補正
特別 会計	国民健康保険	896,369	5,514	901,883	
	介護保険	1,112,787	1,112	1,113,899	
	介護老人保健施設	327,552	715	328,267	
	下水道事業	744,924	21	744,945	
水道事業会計（営業費用）		196,505	△288	196,217	

第一小学校改

工事請負契約

●飯豊町立第一小学校
改築工事の請負契約
変更
金額
1288万円増額

契約の相手方

樋口・那須・高橋
特定建設共同企業体

請願

●TPP協定を国会で
批准しないことを求
める請願
審査の結果
賛成少数により不
採択になりました。

発議

●議会運営委員会委員
の選任について
山口文隆議員の辞
任にともない、新た
な委員に嶋貫栄助議
員を選任し、副委員
長に菅野富士雄議員
を選出しました。

財産の取得

●取得しようとする財産
第一小学校改築に
伴う備品購入
取得金額
2084万円

契約の相手方

長井市栄町10番1号
ソック株式会社

おもな補正

●農業経営基盤強化促
進対策事業費
579万円増額

事業概要

農業者経営支援事業

林業振興費

1831万円増額

事業概要

中津川バイオマス(株)
の整備修理費

財産管理費

1436万円増額

事業概要

町内企業増築にと
もなう財産移転工事

企画費

1600万円増額

事業概要

過疎地域等自立活
性化推進事業(樁地
区)の補助金等

条例の一部改正

●固定資産評価審査委員
会条例

行政不服審査法の全
部改正により、規定の
整備を行うものです。

第一小学校改築の進捗状況



一般質問

住みやすい

飯豊をつくるために



鈴木敏夫 議員

- 農村環境改善センター周辺の活性化策は
- 町内における起業・創業の推進は
- 地震時の防災対策について
- 中学校の部活動について

質問 農村環境改善センターを含む周辺の開発計画と施策・並びに活力ある地域の活性化策は。

住民の要望に的確に対応

町長 本年中に基本構想を策定する予定で検討を進めます。

質問 町内における起業・創業の推進は。

仮称「飯豊寮」を整備

町長 山形大学 x E V 飯豊研究センターの研究者の宿泊施設・集合住宅（仮称飯豊寮）を整備することにより、大学や企業研究者、地元企業、地域住民の参加によるワークショップ

プ、情報交換や交流会の企画などで、新産業の立地や受注拡大のチャンスにつながるものと期待しています。

質問 地震時の防災対策は。

総合防災訓練の実施で

町長 本町には、長井盆地西縁断層帯があり、その活断層上にどんでん平ゆり園の管理棟があります。活断層から50メートル以内であり、木造平屋で床面積42平方メートル2002年建築で耐震化されています。

地震や自然災害全般の対策としては、平時においては、町総合防災訓練を行い、防災力の強化に努めています。

質問 中学校の部活動は。

美術部を除き部外コーチを配置

教育長 中学生にとって部活動は、心身の鍛錬、仲間との連帯感や社会のルールの習得、目標に向かって努力するたくましさ・感動体験や達成感やまた、生

徒の調和のとれた発育・発達と体力の向上、豊かな人間性や生活の充実など、部活動の果たす役割は重要だと言えます。9つの部が配置されていますが、美術部を除くすべての部で部外コーチを配置しております。

可能性を生む、友と夢



一般質問

遊休施設の利活用と処分は



古山 繁巳 議員

○遊休施設等の数と利活用は
○遊休施設を町民のために早急に処分

質問 建物と土地等に区分し、現在の残存価格及び遊休施設・土地等が何力所あるか。

また、遊休施設に普通財産として旧中津川小中学校校舎があり、地域行事や地元組織で利用されています。

土地は約100筆程度

町長 土地は、公共事業で取得した事業用地のうち、工事完了後の残地や施設解体後の跡地、原野等で約100筆あります。

全町的な面積については、現地を確認し、普通財産に該当するか確認を要しますので今

後、計画的に調査していきます。

また、遊休施設に普通財産として旧中津川小中学校校舎があり、地域行事や地元組織で利用されています。

残存価格は、「固定資産台帳の資産評価基準書」を策定し、算定しています。

質問 今後、この遊休施設・土地等をどのように活用するのか。処分しなければならぬものがどれ位あるのか。

土地については普通財産の中から、現地確認し、将来利活用する見込みがないものは売却する方向で進めていきます。



萩生コミュニティセンター北側

利活用の見込みが無いものは売却

町長 遊休施設である建物は町や地元地域に有効な利用法が無いか検討を行い、耐用年数耐震性・安全面、景観の問題など、多角的な側面から処分の方法について考えています。

土地については普通財産の中から、現地確認し、将来利活用する見込みがないものは売却する方向で進めていきます。

却する方向で進めていきます。

質問 人生にも終わりが来るように、施設の寿命が来るまでなぜ使用せず、補助金だからということで次々と新たに建設し、町民一人一人の負担が増えるような事をなぜしなればならなかったのか。

また、遊休施設に普通財産として旧中津川小中学校校舎があり、地域行事や地元組織で利用されています。

資源は過疎債、町民の負担にならないよう

町長 償還額に有利な過疎債を財源としていますが、町民の負担になることがないように、限られた財源・資産を賢く使うために、公共工事を慎重に執行していきます。

質問 遊休施設・土地等を早急に処分し、町民の為に新たな利用を考えることができないか。

売却処分が可能なものについては積極的に整理を

町長 本町における施設の適切な規模と在り方を検討し、可能な限り次世代に負担を残さない効率的・効果的な公共施設等の最適な配置を目指しています。

耐震性の無い建物は原則として解体し、地域で利用する場合は無償貸与や譲渡などの基本方向を定め、そのほか、売却処分が可能なものについては積極的に整理を進めてまいります。

一般質問

安心して暮らせる政策は



高橋 亨一 議員

○高齢者や若者世代が生きがいを

感じ安心して生活できる政策は

質問 老後の生活に不安を感じながら生活している高齢化社会で、居住の一部を共有する（シェアハウス）の住宅施策は。

住み慣れた地域で生活を

町長 65歳以上の一人暮らしの方が227人、高齢者のみ世帯は

228世帯と、5年前より72世帯増加しております、今後増加が予測されます。住み慣れた地域で生活を続けるために、住まい・医療・介護・生活など一体的に支援する地域包括ケアシステムの構築が必要であり、実現に向けて努めているところです。また、高齢者への住まい対策は、養護老人ホームへの入所措置な

どを行っています。

高齢者向けシェアハウス整備の考えについては、「飯豊町高齢者保健福祉計画及び第7期飯豊町介護保険事業計画」の中に位置づけていきます。

質問 若い世代が町に定住を促進するための支援対策は。

子育てと住環境の支援を充実

町長 幼保連携型認定子ども園「飯豊わくわくこども園」を4月に開設しました。また、自由来館型児童施設「こどもみらい館」では、年間一万人が利用されています。さらに、子育て世帯への経済負担軽減のため第3子の保育料の無料化と、ひ

とり親世帯の保育料の軽減の拡充に努め、出産祝い金の支給、高校卒業まで医療費の無料化を行っています。

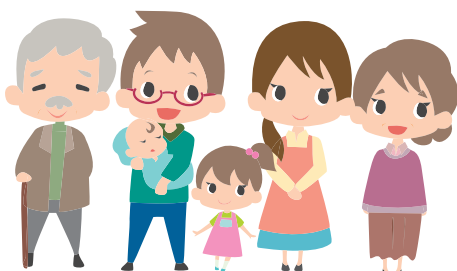
住環境支援については、定住奨励金措置やU・イターン支援、空き家バンク事業などを実施しています。

質問 若者定住のためには、働き場の確保が最大の課題では。町内企業への支援と就労支援対策は。

ハローワークと連携

町長 就労支援や雇用創出、町内企業支援については、実践型地域雇用創造事業を展開しながら、セミナーを開催し、特産品開発や6次産業化の取り組みを

行ってきました。就労支援としては、西置賜雇用対策協議会やハローワークと連携した取り組みを行い、町内企業を支援して新たな創業や新分野への進出、事業拡張の支援や町内者の新規雇用における一部助成などを設けています。



注釈 ※1 シェアハウス=一つの住宅を複数の人で共有すること

一般質問

「飯豊町まち・ひと・しごと 総合戦略」に期待して



山口文隆 議員

○合計特殊出生率を上げる対策は

○人口の流れを変える対策は

○産業構造の変化について

○人口対策室の設置は

質問 合計特殊出生率を、平成37年に2・07人とする具体策は。

子宝支援事業を

町長 保育料の軽減や減免の継続、医療費無料化の拡充および、不妊治療費の助成と、限度額・年齢制限を撤廃し、手厚い支援を継続します。

質問 若者の県外流出や、Uターン、町外からの移住促進を図り、「人口の流れを変える」対策は。

帰郷希望女子 応援プロジェクト を実施

町長 転出を抑制するため、本年4月から「ふるさと定住い」です

条例」を拡充しました。転入を促進する対策として、都市で生活する本町出身女性に帰郷のきっかけづくりを行う「飯豊町帰郷希望女子応援プロジェクト」を実施します。

質問 第一次産業従事者の減少は、人口流出に影響すると考えられる。産業構造の変化に対する対策は。

新しい産業の 創出に期待

町長 第一次産業従事者は、平成22年には698人、生産年齢人口に対する率にすると34・4%から16・9%に減少しています。

産業構造の変化は、本町の人口減少に影響を与えています。「飯豊・農の未来事業」に

よる包括的な取り組みや、「山形大学 x E V 飯豊研究センター」による新しい産業の創出など、第一次産業を維持しながら、新たな産業に可能性を見いだすことも重要と考えています。

質問 人口対策は各課に係る仕事から、「人口対策室」の設置が必要では。

「総合戦略検証組織」 を設置

町長 総合戦略の進捗・成果の把握・検証などを、総合戦略検証組織や、町振興審議会で確認します。



将来を担う子どもたち

土地開発公社 平成27年度 第3セクター 決算報告

平成27年度土地開発公社及び第3セクター5社の決算が今定例会に報告されました。第3セクター（町が50%以上出資する会社）においては、どんでん平ゆり園、飯豊町産業開発公社、飯豊めざみの里の黒字決算を除き単年度赤字決算となりました。町からの支援を受けての実績ですので、今後はさらなる経営努力を期待します。



飯豊町土地開発公社 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
完成土地等売却収入	0
完成土地等売却原価	0
開発中土地売却収益	0
販売費及び一般管理費	143
特別損失	0
事業外収益	27
当期利益	△116

(有)どんでん平ゆり園 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	48,536
売上原価	15,697
販売費及び一般管理費	29,581
営業外収益	530
営業外費用	0
当期利益	3,886



(有)エルベ 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	39,370
売上原価	13,118
販売費及び一般管理費	26,793
営業外収益	11
営業外費用	123
特別利益	0
当期利益	△724



(株)緑のふるさと公社 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	119,680
売上原価	34,540
販売費及び一般管理費	92,415
営業外収益	2,233
営業外費用	1,089
特別利益	5,210
当期利益	△1,107



(株)飯豊町産業開発公社 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	230,872
売上原価	76,549
販売費及び一般管理費	159,760
営業外収益	3,947
営業外費用	465
特別利益	12,039
特別損失	7,706
当期利益	2,180

飯豊めざみの里(株) 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	626,581
売上原価	383,876
販売費及び一般管理費	239,333
営業外収益	2,184
営業外費用	842
特別利益	0
特別損失	0
当期利益	1,581

第三回臨時会

4月8日、第三回臨時会を開催し、専決処分2件、工事請負契約の締結を審査し、いずれも全員賛成で原案のとおり可決しました。

専決処分

◆平成27年度一般 会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億3928万円を追加し、74億3144万円と決めました。

歳入の主な内容は、特別交付税・地方消費税交付金・地方創生加速化交付金の追加や、地方債・基金を減額するほか、各種譲与税、交付金の確定に伴うものです。歳出は、公債費2720万円減額、ほかに繰越明許費の追加、地方債の変更です。

◆平成27年度農業 集落排水事業特 別会計補正予算

歳入歳出それぞれ5億2973万円と決めました。歳出は、農業集落排水施設費(201万円)を減額、公債費利子(201万円)の増額です。

工事請負契約

契約の目的

平成28年度 武士名
橋外橋梁補修工事

契約金額

6674万4000円

工期

平成28年10月31日

契約の相手方

樋口建設株式会社



開通が待ち遠しいダム道路

第四回臨時会

5月17日、第四回臨時会を開催し、平成28年度一般会計補正予算、条例の一部改正2件、公有財産の取得などを審査し、いずれも全員賛成で原案のとおり可決しました。

補正予算

◆一般会計

歳入歳出それぞれ1825万円を追加し、72億6925万円と決めました。

歳入は、前年度繰越金1825万円です。歳出は、米沢飯豊線(ダム道路)の通行止めに伴い、デマンド交通補助金、中津川に臨時保育所の開設、一般廃棄物等収集運搬業務委託料などです。ほかに第一小学校内装木質製材の数量増と、宿泊観光施設等利用促進のためプレミアム付き宿泊券の業務委託等です。

条例の一部改正

◆町税条例

地方税法の改正により、固定資産税の見直しに係る改正をします。

◆国民保険税条例

地方税法の改正により、課税限度額を改正するものです。

公有財産の取得

取得しようとする財産
中型バス(スクールバス)

取得価格

1194万9456円



取得するスクールバス

納入期限

平成29年3月27日

購入先

有限会社

木村自動車

総務文教常任委員会

各課からの報告

●総務企画課

◇飯豊町長選挙の日程が10月20日告示、10月25日投開票日に決定しました。

◇置農飯豊分校跡地利用検討会の1回目を6月21日に開催しました。

●社会教育課

◆町民総合センター

◇あゝす図書室を午後7時まで開館します。期間は7月から9月までです。

◇地区公民館を試行で7月から月曜日の日中時間を開館します。

質問と答弁

菅野委員 天文台の運営方法はどのように変わったのか。

町長 人選は地区の推薦が半分と、公募が半分弱です。集まらない場合はスカウトのようなことになります。

社会教育課長 教育委員会からの、天文研究会「ヘルセ」に運営を委託し、毎週土曜日に定期開催しています。

長沼委員 幼児施設2園、小学校2校に向けてどのように取り組んでいくのか。

教育長 添川小、手ノ子小では複式学級が増えていく状況にあり、児童数が今後逆転しますので2校で検討していきます。

幼児施設は2園とし小学校へのスムーズな移行について検討しています。

井上委員 振興審議会委員の選任方法は。

町長 人選は地区の推薦が半分と、公募が半分弱です。集まらない場合はスカウトのようなことになります。

遠藤委員 町の文化財保管状況は。

教育長 鷹の絵図、旧小坂村検地帳など非常に貴重なものであり、きちんと保存しています。

鈴木委員 若者組織への行政援助は。

教育長 にぎわい再現プロジェクトや、各公民館で若者の活動を支援している現状です。

産業厚生常任委員会

各課からの報告

●農林振興課

◇5月23日有限会社エコプラントめざまの株主総会を開催し、交通事故報告と、事故再発防止、経営改善に努める、後継者育成をはかる様に決議しました。

●健康福祉課

◇70〜80歳の方で、要支援・要介護認定のない人、車運転のできない人などを対象に、町内温泉施設を活用してサロン活動をします。

◇民生委員の選定を8月中旬まで、県に報告します。

●地域整備課

◇第3次道路整備計画を策定しました。防雪柵等を順次計画整備します。

質問と答弁

嶋貫委員 道路整備計画が示されたが、町道の舗装が痛んでいる。維持管理をどうするのか。

地域整備課長 舗装を含む予算は500万円です。交通量の多い所から進めていきます。

菅野委員 高円寺を、「アンテナショップ」「チャレンジショップ」どちらに重点をおくか。

商工観光課長 一概に言える状況ではありません。議会の意見を伺って方向性を見極めたいと思います。

古山委員 町内の農産物の情報発信は。

農林振興課長 アスパラガスは都会で評判がよく、神奈川県で市場調査、意見などを聞いてきました。高円寺で米・アスパラガス・ワラビ等が売れています。

山口委員 老健施設のスタッフ会議の内容は。

介護老人保健施設事務長 全職員で、利用者の状態を共有し、要望等を聞き、その都度改善をしています。通所・入所ユニットごとにも会議をしています。

高橋委員 道路整備計画のうち、防雪柵の順序は。

地域整備課長 進行中は9路線、新規は平成30年以後に取り組みます。

常任委員会 現地踏査

総務文教常任委員会

4月19日に4月から新たな運営方式になった、「飯豊わくわく子ども園」を視察しました。旧さゆり保育園は0歳児から3歳未満の乳児部として、また旧中部幼稚園は3歳児以上の幼児部として、それぞれ、保育、幼児教育の場として目標を持って運営されていました。



認定こども園を視察

産業厚生常任委員会

4月13日委員会が開催され、主要地方道米沢飯豊線（通称ダム道路）雪崩危険個所のスノーシエッド工事現場を視察しました。現在、全面通行止めでの工事で、町民の重要な生活道路であることから早急な工事の完成を期待するものです。



工事が進むダム道路

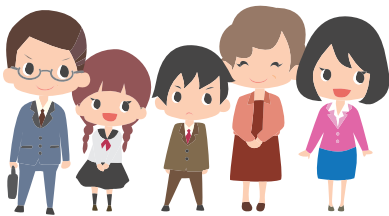
ご意見を いただきました

「最近の議会は町民が理解しがたい困難な言葉が多い。」と議会一般質問を傍聴した方から感想とご意見を頂きました。

議会での一般質問は各議員が町政全般にわたり政策提言等をする場であり、専門的な言葉も出てくる時もあります。今後も議会だよりで用語の解説をするなど、町民の皆様に関われた分かりやすい議会に取り組んでいきます。

皆様のご意見を

お待ちしております



編集後記

例年になく熊の出没が多い。幸いにして大きな被害や人的被害が無くほっとしている。

本格的な夏を迎え、田んぼは鮮やかな緑になってきた。お盆を前に町内各地の神社では獅子舞が始まる。

今年もまた五穀豊穣を願うものである。

（後藤記）

発行責任者

議長 後藤恵一郎

委員長

嶋貫 栄助

副委員長

高橋 亨一

委員

後藤恵一郎

鈴木 敏夫

古山 繁巳

遠藤 忠